

平成 29 年度

学校法人 昭和大学 事業計画



学校法人 昭和大学

はじめに

学校法人昭和大学は平成 30 年（2018 年）に創立 90 周年を迎えます。昭和 3 年（1928 年）の創立以来受け継がれてきた建学の精神「至誠一貫」の心を備えた優れた医療人を世の中に送り出し、社会に大きく貢献するという理念のもと、「医系総合大学」として教育・研究・診療の発展に寄与すべく、平成 29 年度の事業計画を策定いたしました。

法人の事業においては、創立 90 周年記念諸事業の準備を進めておりますが、「上條記念館建設事業」については、平成 31 年の竣工に向け建設に着工します。また、教育・研究・診療の永続的な発展のため、より一層の経営基盤の強化が必要であることから、収益事業活動の推進、経営戦略情報室による経営分析とその改善策等の提言・実施に取り組みます。

教育・研究活動においては、より高いレベルでの教育・研究の体制作りに向け、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及びアドミッション・ポリシーに基づいたカリキュラムの再編成・評価、医学教育の国際化に整合するカリキュラムの改編、臨床実習の強化、奨学金制度活用の推奨、研究所・共同研究施設の充実に取り組みます。

各附属病院においては、安心・安全で質の高い医療の実現に向け、平成 28 年度病院活性化推進プロジェクトの答申に基づいた改革を推進します。また、特定機能病院である昭和大学病院においては、高度医療の提供、高度医療技術の開発・評価、高度医療に関する研修を実施する医療施設としての整備を進めます。

このように、平成 29 年度も様々な事業計画を策定いたしました。この事業を推進し、本学を「日本一」の大学にするために邁進したいと考えておりますので、関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

学校法人 昭和大学
理事長 小口 勝司

学務運営の目標

昭和大学は、学祖上條秀介博士が唱えた「至誠一貫」の精神のもと、「社会に貢献する優れた医療人の育成」という建学の趣旨をもって教育・研究・診療の発展に努めております。

その精神・建学の趣旨に基づき、変化する社会のニーズに合致した十分な知識、技能、態度を修得できるような学修体制の構築を目指し、平成 29 年度における学務運営の目標を策定いたしました。

社会情勢が変化・進展する中、高大接続システムや新たな入学者選抜としての特別協定校制度の導入、「教育研究の質の向上に関する中長期計画」の策定等、教育改革への取り組みを進めます。

学部教育においては、引き続き、各学部におけるカリキュラムの見直し・再構築を推進します。また、再編したカリキュラムについてはその評価を行い、一層の教育の充実を図ります。

大学院においては、研究マインドの養成に向けて、学部の 4・5・6 年次より大学院単位が履修できる「Multi-Doctor (MD) プログラム制度」の充実、優秀な学生の大学院進学を促進する特別奨学金制度活用の推奨、カリキュラムの充実を図ります。

研究の一層の充実に向けて、日本医療研究開発機構 (AMED) 採択研究、日本貿易振興機構 (JETRO) による eICU 導入実証研究等の外部資金の確保に努めております。特に、昨年度、文部科学省私立大学等研究設備整備費等補助金である「私立大学研究ブランディング事業」に採択され、医系総合大学の強みを活かし、医・歯・薬・保健医療学の多角的な観点からの研究活動に取り組み、レドックス医療の研究拠点としての大学ブランドを創成してまいります。

その他、本学の特徴である指導担任制度については、平成 28 年度法人・大学活性化推進委員会の答申に基づき、学生間による「屋根瓦式教育」の充実、学部混成の指導担任制度の再編を進め、また、修学支援制度の拡充に取り組み、学生の教育・研究環境のより一層の充実に努めてまいります。

これらの施策により、教育・研究・診療の充実に努め、本学の更なる発展を目指す所存でありますので、皆様のご支援とご協力をお願いする次第です。

昭和大学

学長 小出 良平

学校法人昭和大学 平成 29 年度事業計画

平成 29 年度は、本学の目的・使命に基づき、教育・研究・診療の発展に引き続き寄与するため、事業計画を策定し、以下の通り主要事業を推進します。

【主要事業】

I. 法人

(1) 創立 90 周年記念事業

平成 30 年（2018 年）の創立 90 周年に向け、準備委員会を中心に記念誌の刊行、記念式典・祝賀会の開催や、記念イベントの実施等、本格的な準備を進めます。

(2) 上條記念館建設事業

創立 90 周年記念事業の一環として進めている上條記念館建設事業については、平成 31 年の竣工に向け、本年 4 月に着工します。

(3) 藤が丘病院再整備計画

藤が丘病院の機能を拡充し、その使命を果たすため、周辺の都市計画及び地域医療のニーズへの対応等を踏まえた将来計画の検討を進めます。

(4) 富士吉田校舎整備計画

学生の教育環境向上のため、講堂における視聴覚システムの更新等を行うとともに、富士山麓地域の豊かな自然環境の中における学生・職員の住環境の向上・福利厚生の実、省エネルギー対策の一環として、温泉の掘削準備の調査を行います。

II. 教育

(1) 高大接続システム等の導入

将来の優れた医療人に成りうる学生を確保するため、高大接続システムや新たな入学者選抜としての特別協定校制度、ならびに医学部に導入している地域選抜方式をほかの学部においても導入します。

(2) 教育研究の質の向上に関する中長期計画の推進

「教育研究の質の向上に関する中長期計画」を策定し、更なる教育の充実に努めます。

(3) 医学教育分野別認証評価受審準備

平成 30 年度の受審が決定した医学教育分野別認証評価については、準備委員会を中心に、詳細な運用の策定と改善策の実行についての検討を行い、カリキュラム等の充実に努めます。

(4) カリキュラムの充実

各学部において、カリキュラムの充実を図るとともに、学生授業評価アンケートを実施し、更なる教育の質の向上に努めます。

(5) 保健医療学部創設 20 周年

保健医療学部は昭和大学医療短期大学として開設され、その後改組し、20 年の節目を迎えます。より魅力的な学部運営を進めるとともに、記念誌の発行をいたします。

Ⅲ. 研究

(1) 昭和大学研究所の活動推進

腫瘍分子生物学研究所、臨床薬理研究所、発達障害医療研究所及びスポーツ運動科学研究所において、それぞれの特色を生かした研究活動を更に推進します。

(2) 外部資金による研究の促進

①日本医療研究開発機構（AMED）採択研究の促進

昨年度採択された「NGS 技術を駆使した遺伝学的解析による家族性乳がんの原因遺伝子同定と標準化医療構築」及び「大腸がん抑制を可能とする、人工知能にもとづく内視鏡診断支援ソフトウェア」について、先進研究の促進に努めます。

②eICU 導入実証研究の促進

日本貿易振興機構（JETRO）による対内投資等地域活性化立地推進事業費補助金において、補助金獲得企業と共同で日本初の遠隔集中治療患者管理プログラム（eICU）を導入し、附属病院における本格的実証研究を促進します。

(3) 研究ブランディング事業

文部科学省私立大学等研究設備整備費等補助金である「(平成 28 年度)私立大学研究ブランディング事業」に採択され、8 つの附属病院と附置研究所を有する医系総合大学としての本学の特徴を最大限に生かした研究活動に取り組み、本学の研究ブランドとしてアピールするとともに、その成果を社会へ還元します。

(4) 研究活動の推進

学術発展と研究者の育成のため、科学研究費補助金の申請増加及び採択率の向上に努めます。また、研究者への支援のための環境を充実させます。

IV. 国際交流

センター開設 25 周年の節目を迎えます。海外の姉妹校・協定校との活発な交流活動を推進するとともに、新たな海外実習・研修先の開拓、英語版ホームページの充実、学部留学生及び大学院留学生等の受入れ環境の整備等に取り組めます。

V. 診療

(1) 昭和大学病院再整備

中央棟竣工から 20 年、入院棟竣工から 37 年が経過し、外来・病棟機能等の見直しを図り、現代社会・地域のニーズの変化に対応する、より高度で安全な医療の提供を図るべく、整備に取り組めます。

(2) 昭和大学病院附属東病院再整備

昭和大学病院の機能の再整備に併せ、効率的な病院機能の運用のため、診療科の見直し、外来・病棟機能の整備に努めます。

(3) 電子カルテの導入整備

各附属病院における電子カルテ等の導入整備について、各附属病院の状況に応じた合理的な導入を進めます。

(4) 新専門医制度への体制整備

平成 30 年度に導入される新専門医制度に向け、各診療科において昭和大学独自の魅力ある専門研修プログラムを策定し、優れた専攻医獲得のための体制整備を引き続き推進します。

VI. 管理運営

(1) 管理運営体制の整備と円滑な大学運営

①収益事業の促進

寄付行為の目的である教育、研究、診療の更なる発展のため、その収益を大学経営に充てる収益事業を新たに行います。

②活性化推進の活動

法人・大学活性化・病院活性化推進プロジェクトを引き続き実施し、運営上の問題点を顕在化させ、その解決策を立案し、法人運営に迅速かつ具体的に反映させます。

③自己点検・評価活動の実施

特色ある本学独自の自己点検・評価を引き続き実施し、抽出した問題点を見直し、今後の短・中期的な課題として、その改善・改革案を策定・実施することにより、教育・研究・診療活動の充実に繋がります。

④寄付金募集活動の強化

昭和大学の発展、よりよい教育環境作りの実現に向け、創立 90 周年記念事業募金、昭和大学サポート寄付制度の募集活動を促進するとともに、地道な活動を通して、寄付文化の醸成に努めます。

⑤経営戦略の強化

法人・大学並びに附属病院の運営に関するデータを収集・分析し、経営改善策等の提言・実施のため、経営戦略情報室の強化に努めます。

(2) 施設設備の整備・活用

①情報ネットワークの再整備

総合情報管理センターを中心に、大学全体の情報ネットワーク環境の整備・管理を推進し、教育・研究等の支援に努めます。また、全附属病院にかかわる電子カルテの運営管理体制を整備します。

②校地・校舎取得

本学の将来における様々な事業活動の可能性を考慮し、適切に校地・校舎の取得を行います。

(3) 広報活動の推進

学内外が求める情報について、大学ホームページやその他媒体を積極的に活用し、広報活動の強化を図ります。また、本学の知名度向上や、学生募集のための広報活動については、引き続き戦略的な活動を行います。

(4) 他大学・地域との連携強化・充実

連携協定を締結している自治体並びに大学との間で、定期的な協議会に加え、実務者による分科会において、活動を具現化し、連携の強化・充実に努めます。

主な事業計画

[法人]

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1) 上條記念館建設事業 | 10) 大学11号館電源整備 |
| 2) 上條記念館設計・監理業務 | 11) 富士吉田自然教育園整備計画 |
| 3) 旗の台キャンパスCサイト基本構想策定 | 12) 富士吉田キャンパスSGSC屋上・外壁改修工事 |
| 4) 旗の台1丁目庚申塚敷地整備 | 13) 富士吉田温泉掘削整備計画 |
| 5) 旗の台校舎近隣整備 | 14) 長津田運動場隣地整備 |
| 6) 昭和大学病院整備計画 | 15) 長津田運動場改修整備 |
| 7) 藤が丘病院再整備計画 | 16) 医学部附属看護専門学校外壁修繕工事 |
| 8) 大学4号館外壁改修工事 | 17) 烏山ハイツ解体整備 |
| 9) 大学7号館プール用ボイラー更新工事 | 18) 保養所整理 |

[教育・研究]

- 1) 学術情報基盤システム更新計画
- 2) 富士吉田校舎視聴覚システムデジタル化、講義収録機能・講義収録配信装置導入

[昭和大学病院]

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1) 医療機器等 | |
| (1) 電子カルテシステム | (6) 手術室内視鏡システム |
| (2) 外科手術用顕微鏡システム | (7) 栄養科厨房改修工事に伴う機器 |
| (3) 透析清浄化システム | (8) 3Dカメラシステム |
| (4) 手術室无影灯 | (9) 生体情報モニタシステム |
| (5) 電動リモートコントロールベッド | |
| 2) 施設・設備整備（中央棟） | |
| (1) 中央監視盤・自動制御設備更新工事 | (2) 医療用吸引ポンプ更新工事 |
| 3) 施設・設備整備（入院棟） | |
| (1) ハロン消火設備更新工事 | (4) 栄養科厨房改修工事 |
| (2) 蒸気ボイラー更新工事 | (5) 昭和大学病院機械式駐車場改修整備 |
| (3) CVCF更新工事 | (6) 昭和大学病院駐車場改修整備 |

[昭和大学病院附属東病院]

1) 医療機器等

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| (1) 電子カルテシステム | (3) 整形外科・リハビリテーション室設置に伴う機器 |
| (2) デジタル一般X線撮影システム | |

2) 施設・設備整備

- | | |
|------------------|-------------------------|
| (1) 冷暖房機器更新工事 | (3) 空調ドレン配管更新工事 |
| (2) 自動火災報知設備更新工事 | (4) 整形外科・リハビリテーション室設置工事 |

[藤が丘リハビリテーション病院]

1) 施設・設備整備

- | | |
|---------------|-------------|
| (1) 中央監視盤更新工事 | (3) 空調機更新工事 |
| (2) 屋上防水工事 | |

[横浜市北部病院]

1) 医療機器等

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| (1) 読影システム | (8) 超音波診断装置 |
| (2) 電子カルテシステム（部門システム一部） | (9) 大腸ビデオスコープ |
| (3) 骨塩定量検査装置 | (10) ガンマカメラ |
| (4) 循環器用超音波診断装置 | (11) 光トポグラフィ装置 |
| (5) 神経モニタリング器械 | (12) IVR 超音波診断装置 |
| (6) 一般ベット | (13) MICS 器械セット/MICS カメラシステム |
| (7) 高圧蒸気医滅菌装置 | (14) 汎用超音波画像診断装置 |

2) 施設・設備整備

- | | |
|----------------|--------------------|
| (1) ファンコイル整備 | (3) パッケージエアコン更新・整備 |
| (2) 病棟自動ドア改修工事 | |

[江東豊洲病院]

1) 医療機器等

- | | |
|--------------------------|----------------|
| (1) 電子カルテシステム（重症系部門システム） | (2) ベッドサイドモニター |
|--------------------------|----------------|

2) 施設・設備整備

- (1) ガスコージェネレーション廃熱利用熱交換器設置事業

[豊洲クリニック]

1) 医療機器等

- (1) X線TV装置

[烏山病院]

1) 医療機器等

(1) 電子カルテシステム

(2) 自動錠剤分包機

[歯科病院]

1) 施設・設備整備

(1) 吸収式冷凍機分解整備工事

結 び

平成 29 年度の事業計画は、以上各号に述べたとおりであります。

私立大学を取り巻く社会・経済の状況は誠に厳しいものがありますが、今後とも各位の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成 29 年 3 月 31 日

学 校 法 人 昭 和 大 学